

水圏機能材料のプラットフォームとしての多細胞型膜組織の構築



今井 正幸

東北大学・教授

人工細胞（ベシクル）が多細胞生物のように組織を作って機能を発現するようなシステムを研究しています。水圏機能材料の有力なプラットフォームとしてベシクルがありますが、通常ベシクルは水中にランダムに分散しているため、外部からの刺激に対してコヒーレントに応答

することが難しくなっています。そこで、細胞組織のように個々のベシクルを接着させ、集合体として機能させることができれば、その機能発現の効率は飛躍的に増大することが期待されます。このような水圏で活躍する高次な機能発現構造体の構築を目指します。

